

必修科目Ⅱ	特殊研究 Doctoral dissertation	DM_2005	単 位	8 単位
			区 分	必修
科目責任者	園生 雅弘 教授 (神経内科)		授業形態	演習(実習含む)

概要	研究課題を決定し、これに関する文献を収集、該当するものを熟読して問題点を整理、研究計画を立案する。次いで、立案した計画を実現可能性や研究としての妥当性の観点から検討する(必要に応じ、統計学的に適切なものか、この時点で判断してもらう)。妥当と判断したら、教員指導の下、データ収集および解析を行う。解析結果が得られたら、結果に対する考察を加え研究論文を作成する。なお、データ収集・解析に必要な知識・手法(統計手法)は演習・実習を通して習得しておく。
到達目標	高度かつ徹底した専門的教育を目的とした専門科目(主科目)を行うとともに、研究・論文作成(一定以上の水準の学位論文を作成し、国際的標準の研究成果を発表する。)*学会発表等を経験し、課程修了年限までに学位取得を目指す。
事前事後学修	各専門分野によって異なるため、各指導教員の指示に従ってください。 1回の授業に対して、予習・復習それぞれ30分程度が必要である。
評価方法	研究計画の達成度(40%)、課題への取り組み方状況(10%)、発言の積極性や内容(20%)、プレゼンテーション(10%)、討論(20%)等をみて総合的に評価します。 なお、実施遂行状況を随時、教員が確認します。
教科書・参考書	各指導教員の指示に従ってください。
履修上の注意事項	指導教員・研究内容・実施方法等については、各専門分野によって異なるため、詳細は指導教員の指示に従ってください。 また、単位の付与については、最終学年で行います。 試験やレポート等は随時、講義の中での解説等のフィードバックを行う。 この科目と学位授与方針との関連をカリキュラムマップを参照し理解すること。
指導教員	各専門分野の研究指導教員
授業計画(実習・演習)	講義や演習で得られた知識と文献等の解析を踏まえ、各自が選択した授業科目の研究指導教員の指導の下に研究課題を決定し、科学的に探求することで博士論文を作成する。  1年次に指導教員を決定し、研究課題について話し合い、今後の流れについて設定をする。 2~4年次は、研究に関するデータ収集・分析や学内外で開催される学術集会上に積極的に参加、発表し、学生自身による自己評価、情報収集、研究交流をおこなう。 4年次11月には、博士論文を申請する。  また、学位論文としての研究内容は、3年次修了までにはまとめ、3・4年次に実施する学位論文中間発表会で発表をする。 学位論文中間発表会では、研究テーマを発表し、その前後には学術雑誌に投稿する。 完成した学位論文の内容は、学位審査会において学生が発表し、最終的には研究科教授会において学位授与の可否が決定される。 ※なお、早期修了者については、上記内容を済ませ、3年次11月には学位論文申請をする。  以上に加えて、eLCoREの受講が必須となります。修了証を事務部まで提出してください。 ※詳細は、別途ご連絡いたします。

※講義日程の変更・追加の連絡等がある場合、登録されているメールアドレスに連絡します。